

# COM<sup>®</sup> WAS-250-30/50 WAS-400-30/50

自動帶束機

## 取扱説明書



## 目次



1. 目次.....	1
2. はじめに.....	2
2-1. 安全上のご注意.....	2
2-2. 使用上のお願い.....	3
3. 各部の名称.....	4
3-1. 本体部.....	4
3-2. 操作部.....	6
4. 使用方法.....	7
4-1. 運転準備.....	7
4-2. テープのセット方法.....	8
4-3. 引締めモード切替えと、テープ引締め力調整.....	12
4-4. 帯束.....	13
5. 異常信号について.....	15
6. 仕様.....	16

## 2. はじめに

据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。  
機器の知識、安全に使用するための情報や注意事項のすべてについてよくご理解の上で使用してください。  
本書は製品の近くに置いてご活用ください。また、大切に保管してください。

### 2-1. 安全上のご注意

この“安全上のご注意”では、安全注意事項のランクを「警告」と「注意」に区分しています。

 <b>警告：</b>	取扱いを誤った場合に危険な状況が起こり、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合
 <b>注意：</b>	取扱いを誤った場合に危険な状況が起こり、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。  
危険箇所については、絵シールにて本体に表示しています。

### 警 告

- ・ 煙が出たり、変なおいや音がするなど異常が見られる場合は、そのまま使用せず、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電、火災、機器破損のおそれがあります。
- ・ お客様による分解・修理・改造は絶対にしないでください。  
感電、けが、火災、機器破損のおそれがあります。
- ・ 本体に表示されている以外の電源は使用しないでください。  
感電、火災、機器破損のおそれがあります。
- ・ 機器の内部をさわらないでください。  
高電圧が流れているので、感電、けが、やけどのおそれがあります。

### 注 意

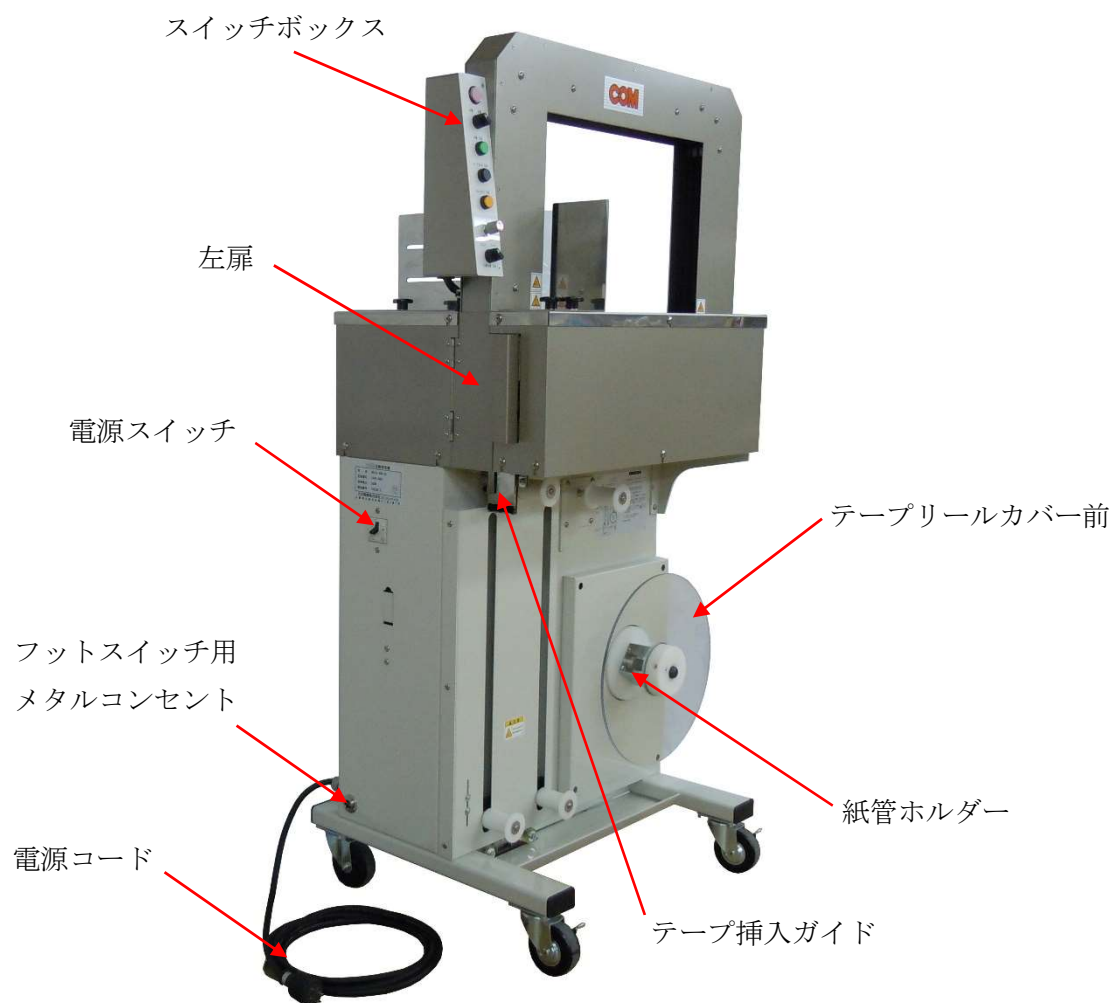
- ・ 不安定な場所に設置・保管をしないでください。  
機械が転倒してけがをするおそれがあります。
- ・ 高温・高湿・ホコリの多い場所で使用しないでください。  
感電、火災のおそれがあります。
- ・ 電源が入っているとき、または電源を切った後（約10分）は、ヒーター部にさわらないでください。  
高温になっているので、やけどをするおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときは、稼働部に触れないでください。  
稼働部に当たってけがをするおそれがあります。
- ・ 作業終了後は、必ず電源を切ってください。

## 2-2. 使用上のお願い

- ・ 動作不良や機器破損の原因となりますので、COM テープ以外は使用しないでください。
- ・ 本体に表示されている電源で、電圧変動の少ない場所で使用してください。
- ・ 水平で安定した場所で、固定させて使用してください。
- ・ テープ送り不良の原因となりますので週に一度を目安に機械の掃除をしてください。  
とくにローラー部の掃除は重要です。
- ・ テープ送り不良の原因となりますので、  
高温・高湿・ホコリの多い場所でのご使用はさけてください。
- ・ お客様による機械の改造や修理は、補償対象外となりますのでおやめください。

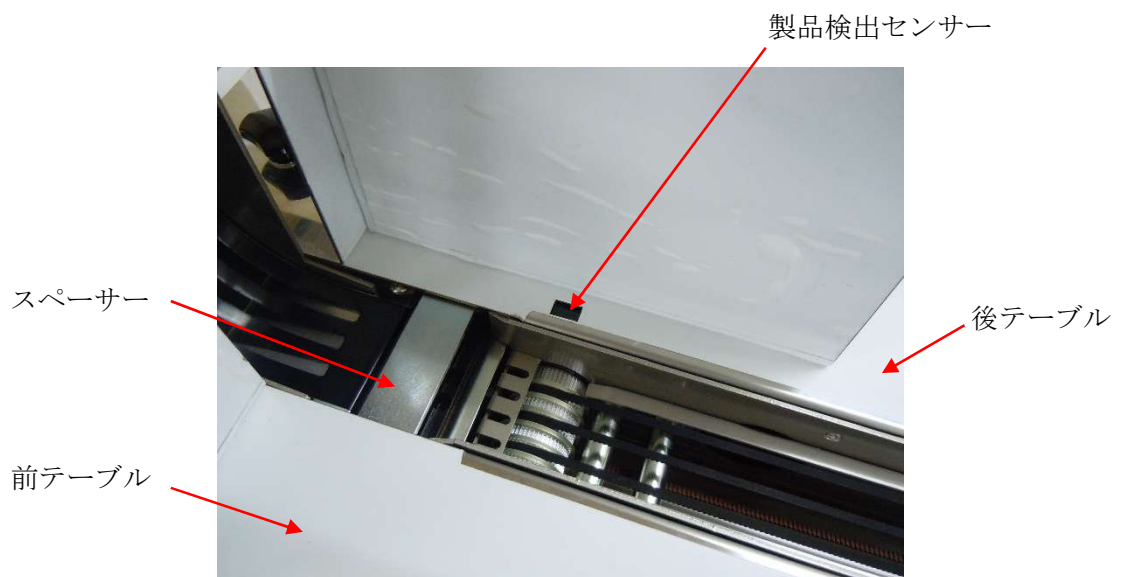
### 3. 各部の名称

#### 3-1. 本体部



#### 左扉内部





### 3-2. 操作部

**手動/自動切替スイッチ**  
手動運転、自動運転を切り替えることができます。

**テープカットスイッチ**  
このスイッチを押すと、テープがカットされてからセットされます。  
※自動モードでは使用できません。

**引締めボリューム**  
テープ引締め力の調節を行います。

**引締め切替スイッチ**  
引締めモード切替えが行えます。  
引締めトルクと引締めパルスの2種類のモードがあります。



**運転ランプ**  
点滅状態で運転準備中または帯束機異常を、点灯状態で運転準備完了を表示します。

**手動スイッチ**  
手動運転時に使用します。  
このスイッチを押すと、製品が帯束されます。

**カムリセットスイッチ**  
このスイッチを押すと本機が定位位置（原点位置）に戻ります。また、帯束機以上発生時にこのスイッチを押すと異常信号が解除されます。  
※本機を原点位置に戻すときは手動モードのみ、異常信号を解除する



**テープセットスイッチ**  
このスイッチを押すとテープがセットされます。  
※自動モードでは使用できません。

**テープリール開放スイッチ**  
このスイッチを押すと、テープリール電磁ブレーキが開放されます。  
※自動モードでは使用できません。

## 4. 使用方法

### 4-1. 運転準備

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。  
※フットスイッチ（オプション）を使用する場合は、フットスイッチ用メタルコンセントにフットスイッチプラグを差し込みます。
2. 電源スイッチを「ON」にします。
3. 運転ランプが点滅します。  
点滅開始から約 30 秒後にヒーターの予熱が完了し点灯状態となり、運転準備が完了します。





## 4-2. テープのセット方法

1. スイッチボックスにある手動 / 自動切替スイッチを「手動」にします。
2. テープリールカバー前を手前に引っ張り取り外します。



テープリールカバー前

3. テープを紙管ホルダーに差し込みます。  
※テープの巻き方向を確認してください。



4. テープリールカバー前を取り付けます。

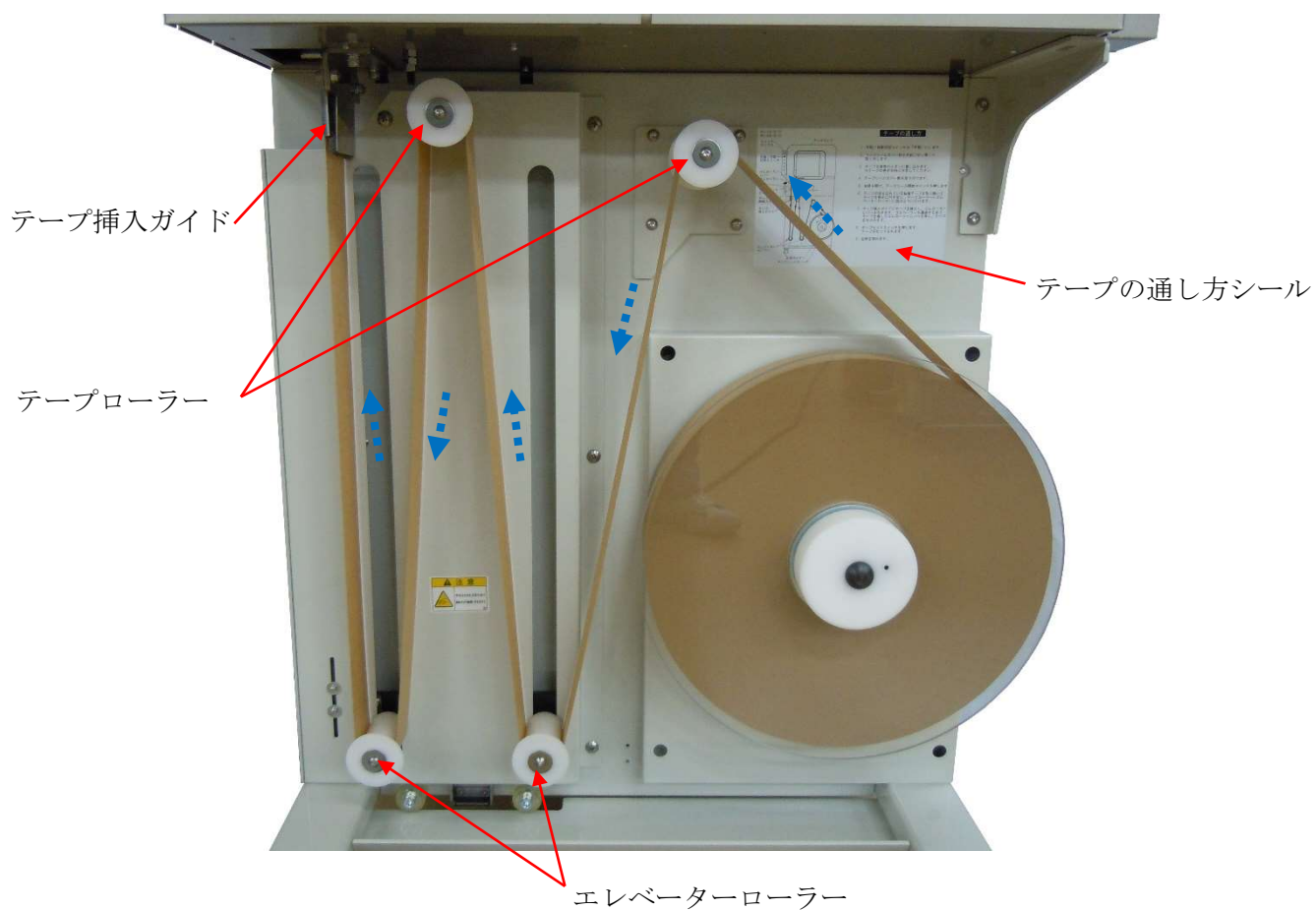


テープリールカバー前

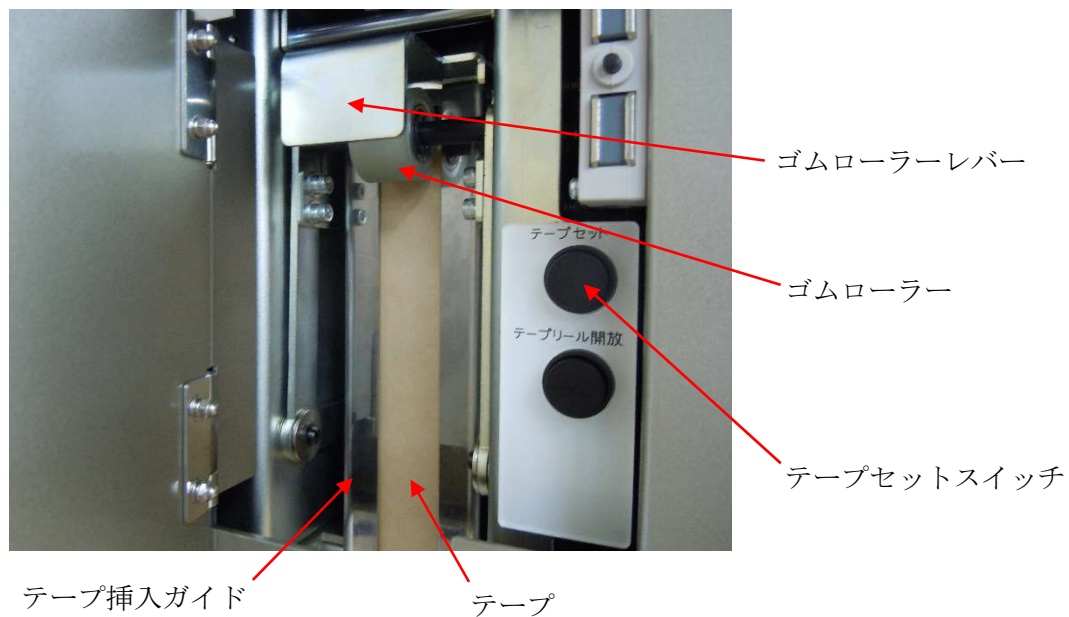
5. 左扉を開け、テープリール開放スイッチを押します。  
テープリール電磁ブレーキが開放されます。



6. テープの端を止めている粘着テープを取り除いてからテープを長めに引き出します。  
テープローラーとエレベーターローラーに下図のようにかけます。  
※テープの通し方シールを参照してください。

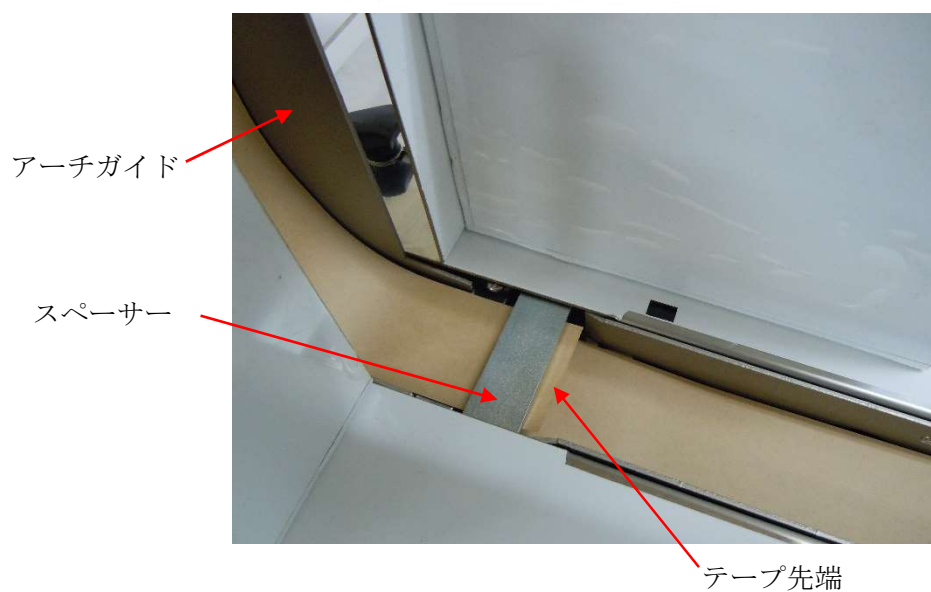


7. テープ挿入ガイドにテープを挿入し、ゴムローラーレバーを手前に引きます。  
ゴムローラーを通過するまでテープを通してゴムローラーレバーを戻し、  
テープをはさみます。



8. テープセットスイッチを押します。  
テープがセットされます。  
※テープセットスイッチを押してもテープが送られない場合は、カムリセットスイッチを  
押して本機を定位置(原点位置)に戻してから、テープセットスイッチを押してください。

9. テープが正常にセットされている状態（テープがアーチガイド内側を  
スペーサーの下を通り、テープの先端がスペーサーの右側にある状態）を確認します。  
セットされていれば左扉を閉めます。



## アーチガイドへのテープ再セット

アーチガイドにテープがセットできない、またはセットしなおしたいときは、スイッチボックスにあるテープカットスイッチを押してください。

### 1. テープがセットできない場合

本機が定位置（原点位置）にありません。

カムリセットスイッチを押してください。

本機が定位置（原点位置）に戻ります。

スペーサー



### 2. テープが正常にセットされていない場合

下図のようにテープの端をもって、テープカットスイッチを押してください。

テープが切断されてセットされます。



※スペーサー、ヒーター部、クランプ部が動作するので手をはさまないように注意してください。

ヒーター部は高温になっていますのでやけどしないように注意してください。

### 4-3. 引締めモード切替と、テープ引締め力調整

引締めモードは、引締めトルクと引締めパルスの2種類のモードがあります。  
引締め切替スイッチで引締めモードを選択し、引締めボリュームで引締め力の調整をします。

#### ①引締めトルク

引締めトルクは、引締めボリュームの位置が、  
左に行くほど引締め力は弱くなり、右に行くほど引締め力は強くなります。

引締め力を弱くするとテープを巻く速度が落ちますが製品に対してソフトな帯束が出来ます。  
引締め力を強くするとテープを巻く速度は上がり引締め力が強くなりますので、  
製品に対してハードな帯束が出来ます。

#### ②引締めパルス

引締めパルスは、引締めボリュームの位置が、  
左に行くほど引締め量は少なくなり、右に行くほど引締め量は多くなります。

製品の外周に合わせて引締めが行えます。

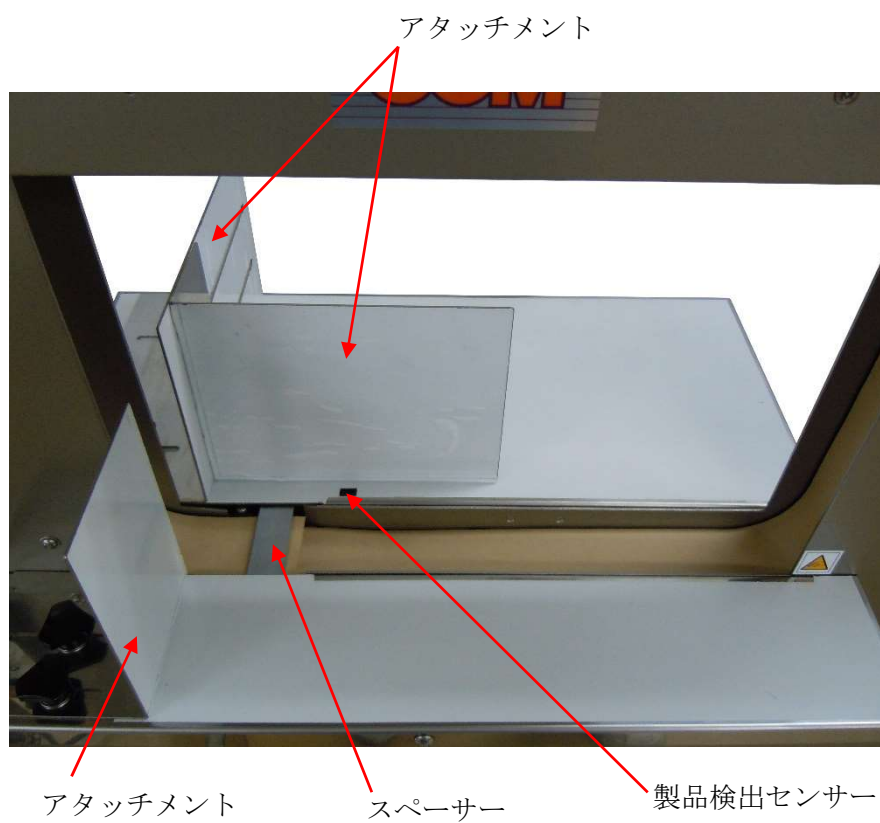
引締め量を少なくしても多くしても、テープを巻く速度も力も変わりません。

どちらの設定の場合も、帯束する製品に合わせてご使用ください。



#### 4-4. 帯束

1. 帯束作業に入る前に、  
製品の大きさや帯束する位置に合わせてアタッチメントの位置を調整しておきます。  
製品がスペーサー、製品検出センサーの上になるように調整してください。



## 2. 手動帯束運転

- ① 運転ランプが点灯し、テープセットが完了した状態で、スイッチボックスにある手動 / 自動切替スイッチを「手動」にします。
- ② 製品をアタッチメントに合わせてテーブルに置きます。
- ③ 手動スイッチを押します。  
テープが引き締められて接着、切断され、製品が帯束されます。
- ④ 製品を取り除きます。  
テープがアーチガイドにセットされ、次の製品が帯束できる状態になります。

## 3. 自動帯束運転

- ① 運転ランプが点灯し、テープセットが完了した状態で、スイッチボックスにある手動 / 自動切替スイッチを「自動」にします。
- ② 製品をアタッチメントに合わせてテーブルに置きます。  
製品検出センサーが製品を検出し、帯束されます。
- ④ 製品を取り除きます。  
テープがアーチガイドにセットされ、次の製品が帯束できる状態になります。

## 5. 異常信号について

本機に異常がある場合、異常信号が出力されます。

異常信号が出力されると、運転ランプが点滅し、機械は作動しません。

運転ランプの点滅回数で異常内容を確認してください。

異常内容は下記のとおりです。

点滅回数	異常信号名	説明
1回	ヒーター立ち上がり異常	電源投入後、ヒーターの温度が設定値まで上がらない。
2回	ヒーター温度異常	ヒーターが設定温度を保てない。
3回	カムモーター異常	カムモーターが正常に動作していない。
4回	テープリール電磁ブレーキ異常	テープリール電磁ブレーキが正常に動作していない。 ※テープ終了時にこの信号が出力される場合があります。 カムリセットスイッチを押して異常信号を解除してから新しいテープに交換してください。
5回	ローラーサーボ異常	サーボモーターが正常に動作していない。

※これらの異常信号はカムリセットスイッチを押すと解除されますが、

異常信号を解除しても同じ現象が起きる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。



## 6. 仕様

### ■機械性能

型式	帯束できる寸法	帯束能力(分)
WAS-250-30/50	最大(幅 250mm , 高さ 270mm) 最小(幅 50mm , 高さ 50mm)	22 束/分
WAS-400-30/50	最大(幅 400mm , 高さ 270mm) 最小(幅 50mm , 高さ 50mm)	

### ■機械寸法、重量

型式	全幅	全高	奥行	テーブル高さ	重量
WAS-250-30/50	614mm	1292mm	412mm	926mm	82kg
WAS-400-30/50	681mm				85kg

### ■電源

型式	電源	消費電力
WAS-250-30/50	100V/50Hz , 100V/60Hz	500W
WAS-400-30/50		

### ■その他

シール方式	ヒーター接着 (ヒーター立ち上り時間-電源投入後約 30 秒)
使用条件	室温 0~30℃ / 湿度 85%RH 以下



# COM 自動帯束機保証書



型	式
機	械 番 号
保 証 期 間	お買上げ日より 6 ヶ月
お買上げ年月日	年 月 日
お客様ご住所 〒 _____	
TEL _____	
お客様ご芳名	様
<p>本保証書は本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。</p> <p>1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、製品と本保証書をご提示、又は、添付の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>2. 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。</p> <p>イ. 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷</p> <p>ロ. お買上げ後の取り付け場所の移動、落下などによる故障および損傷</p> <p>ハ. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷</p> <p>3. 本書は日本国内においてのみ有効です。</p>	

本書の内容に関して予告なしに変更することがあります。

## 大洋精機株式会社

〒574-0062 大阪府大東市氷野 4-3-7  
 TEL(072)873-3739(代) FAX(072)875-4324  
 U R L: <http://www.com-machine.co.jp>  
 E-mail: [taiyo@com-machine.co.jp](mailto:taiyo@com-machine.co.jp)

販売店
-----



**大洋精機株式会社**

〒574-0062 大阪府大東市氷野 4-3-7  
TEL(072)873-3739(代) FAX(072)875-4324  
U R L: <http://www.com-machine.co.jp>  
E-mail: [taiyo@com-machine.co.jp](mailto:taiyo@com-machine.co.jp)